

平成 28 年度 置賜支部 第 3 回勉強会（症例検討会）報告

平成 28 年 11 月 18 日（金）、米沢市勤労者福祉センター（アクティーマ沢）にて、置賜支部第 3 回勉強会（症例検討会）を開催致しました。参加者数は 55 名でした。

置賜地区では、地区を 4 つのグループに分け、グループごとに地区別カンファレンスを行っております。今回は、その 4 つのグループから 1 演題ずつを選出し、全体で検討会を行いました。

座長は三友堂リハビリテーションセンターの島貫 聡先生にお願いし、以下のような演題が発表されました。

①胸椎破裂骨折後遅発性脊髄損傷により不全対麻痺を呈した症例

～自宅退院に向けた関わり～

榎本崇紀先生（三友堂リハビリテーションセンター）

②意欲低下により、リハビリ拒否が強い症例への導入方法

佐藤拓也先生（介護老人保健施設 サンプラザ米沢）

③第一腰椎圧迫骨折を呈し在宅での移動手段の検討を要した症例

鈴木崇広先生（公立高畠病院）

④肺癌術後に出血性ショックを呈し長期入院となった 1 症例

海老名陽介先生（公立置賜総合病院）

各発表はそれぞれの施設・患者・利用者ごとの特性が反映されており、バラエティに富んだ内容でした。質疑応答も積極的に行われ、実際の臨床に参考になり、新たな興味・関心を持つ良い機会になりました。

お集まりいただいた会員の皆様、大変お疲れ様でした。そして座長・発表者の先生ならびに準備にご尽力いただいた先生方に深く感謝申し上げます。



（文責：吉見 徹）